キノコ採りをする皆さまへ

長野県警察山岳遭難救助隊
長野県山岳遭難防止対策協会

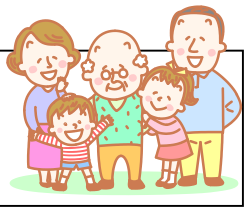
例年９月から１０月にかけて、長野県内では、キノコ採り目的で入山し、道迷いや、急斜面で滑落して死傷する遭難が多発しています。

キノコ採りは、探すことに夢中になるあまり山奥へ入り込み、方向感覚を失い、現在地がわからなくなったり、危険な崖や斜面に入り込んでしまったりすることが多々あります。　キノコ採りで入山する際は、登山と同じように「遭難するかもしれない」という危機感を持つとともに、単独行動は避け、必ず家族や友人などに入山場所と予定を知らせましょう。　キノコ採り遭難防止のため、次のことに注意してください。

１　単独入山、入山後の単独行動は避けましょう

単独での入山はアクシデントが起きた際、救助要請ができない場合があります。複数で入山をするようにしましょう。　また入山した後も、単独行動をして道に迷い、仲間とはぐれてしまうケースが後を絶ちません。　複数人でお互いに目や声の届く範囲で行動してください。

２　入山場所と予定を家族等に伝えましょう



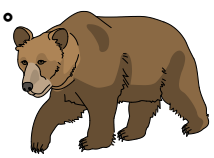
家族には入山場所と予定を伝えてから出かけてください。家族から捜索願が出されても、入山場所が特定できなければ、捜索が非常に困難となります。

３　携帯電話やヘッドライトを持って行きましょう

携帯電話は、万一の際の重要な通信手段となります。必ず携帯して入山してください。　また携帯電話の GPS 機能を ON にしましょう。秋は日が短く、冷え込みます。　万一に備え、防寒着やヘッドライト、非常食等を携行してください。

４　急な斜面に入り込まないようにしましょう

キノコ採りに夢中になるあまり、急な斜面に入り込み、滑落して死傷するケースが多発しています。　不用意に危険な崖や斜面には入り込まないでください。

５　クマなどの野生動物に注意しましょう

クマはキノコを好んで食べるため、キノコ採りはクマに出会う確率が高くなります。複数人で行動するなど、十分に注意しましょう。人の気配を感じたクマは自ら避ける傾向があります。笛、ラジオ、クマ鈴など音の出る物を携行しましょう。